

# アフリカヤマネの飼い方

※この飼い方については、我が家での実践であって、標準的な飼育方法を保証するものではありません。

## 1. ケージ

特大サイズプラケースまたはガラスハーモニー450程度の大きさのケースで飼育します。金網タイプは、隙間から脱走するため、使用厳禁です。

## 2. 床材と巣箱

床材には広葉樹チップなど、ハムスターとほぼ同じもので大丈夫です。

巣箱はあったほうがヤマネが安心できますが、ヤマネはうんちが柔らかく、飼育用具にうんちを擦り付けるため、熱湯タオルでふき取る等の掃除が必要です。

また、とてもよく運動する動物なので、回し車はあったほうが良いです。

## 3. エサと水

我が家の例ですが、エサ皿に以下のものを入れて、与えています。

- ・フェレットフード（ペットライン榊森の小動物シリーズ。オレンジ色の袋）
- ・ドッグフード（繊維質が3.5%以下のもの）
- ・乾燥昆虫（乾燥コオロギまたは乾燥ミズアブ等）
- ・ハトのエサ（榊黒瀬ペットフード 細かく砕いたもの）
- ・モンキーフード（Mazuri ほかのメーカーのものでも可）

★副食・・・バナナ（我が家はかなりの量を与えています。ほぼ必須）

りんごのかけら（これは必須ではありません）

水分は、給水ボトルで与えます。

★アフリカヤマネには、繊維質の多い食べ物は決して与えないでください。

ドッグフードの商品選びも、繊維質が最も少ないものを選んでください。

#### 4. 毎日の世話

夜行性なので、夕方にエサやり、水替え、果物を与えます。

朝にはエサ皿を回収しています。

#### 5. 大掃除

週に1度、背の高い段ボール箱に巣箱ごとヤマネを移し、古い床材はすべて捨てて、ケージを丸洗いします。洗剤は使いません。

回し車の汚れは、バケツに熱湯をいれて、その中で歯ブラシを使えば汚れは落ちます。

#### 6. 飼育環境について

ハムスターやマウス等と同じ要領です。

ちなみに我が家では、他の動物もいるため、夏の昼間はエアコン26度設定、

冬は24度設定で1日中稼働しています。

#### 7. 脱走について

アフリカヤマネは動きが素早く、掃除のときにうっかり脱走されることもあります。

脱走にそなえて、ネズミ捕り器をあらかじめ用意しておいたほうが良いです。

(Amazonにて購入できる、茶色のプラスチックネズミ捕り2個セット)

ネズミ捕り器にバナナを仕掛け、ヤマネが脱走した方向に入り口を向けてセットすれば、翌朝には確保できます。

我が家ではネズミ捕り器の捕獲は100%成功しています。

#### 8. 繁殖について

オスとメスを同じケージで飼育していれば、相性が良ければ赤ちゃんが生まれます。

ヤマネは繁殖力が高いため、繁殖は計画的に行ったほうがよいでしょう。

また、ケンカによる尾切れを防止するために、オスとメスを別々に飼育し、お見合いをして交配させる方法もあります。

雌雄判断は、成体はオスの睾丸が膨れるため判断可能ですが、幼体は判別が困難です。我が家では、幼体については雌雄判断は行っておりません。